

令和6年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------------|--|----------------|-----------|
| 事業所番号 | 1494200098 | 事業の開始年月日 | 令和1年10月1日 |
| | | 指定年月日 | 令和1年10月1日 |
| 法人名 | 株式会社 ハートフルケア | | |
| 事業所名 | グループホーム プラチナホーム海老名 | | |
| 所在地 | (〒243-0436) 神奈川県海老名市扇町4-6 | | |
| サービス種別 定員等 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 | 登録定員 | 名 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 通い定員 | 名 |
| | | 宿泊定員 | 名 |
| | | 定員計 | 18名 |
| | | ユニット数 | 2ユニット |
| 自己評価作成日 | 令和6年10月13日 | 評価結果 市町村受理日 | 令和7年4月11日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

JR海老名駅から徒歩5分という駅前の立地にあり、事業所の東側にはららぽーとを中心とした多彩な施設が集まる環境で、西側には田んぼが広がり、事業所からは大山や丹沢も臨める風景で、都会と自然のバランスが取れた環境は、入居者様やご家族の方に喜ばれています。
近隣にある湘陽かしわ台病院は同じグループの医療機関であり、訪問看護師の派遣や、年1回の入居者様の健康診断の機会のご提供で、医療面でもご安心頂けます。
日常生活でもお客さまに楽しんで過ごしていただけるよう散歩やイベントレクリエーションの企画などに力を入れております。
定期的な社内研修や各種資格取得のための支援など社員育成に力を入れております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|------------------------|---------------|-----------|
| 評価機関名 | 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 | | |
| 所在地 | 横浜市中区山下町2-3 日土地山下町ビル9F | | |
| 訪問調査日 | 令和6年10月23日 | 評価機関 評価決定日 | 令和7年2月11日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| 【概要】 当事業所はJR相模線海老名駅から徒歩5分のところに位置するグループホームである。鉄骨造り3階建ての建物の2、3階が当事業所となっている。駅前の再開発による複数の大型商業施設や高層マンション等の集合住宅が立ち並ぶ地域にあるが、建物西側には畑が広がり丹沢連峰が一望できる。建物1階に併設された小規模多機能型居宅介護事業所とは、事業所の夏祭りや避難訓練、研修等で協力しあっている。 【地域との連携のための積極的な各種取り組み】 互いの繋がりが希薄になりがちな駅前再開発地域に開所して5年という短い期間の中で、地域との連携を図るために積極的且つ継続的に各種活動に取り組んでいる。加入する海老名扇町エリアマネジメント主催の夏祭りの手伝いや毎月の美化清掃、花の植え替えイベント等に利用者と一緒に参加したり、地域包括支援センターの依頼で認知症サポーター養成講座を開催し、見学者を受け入れている。駅ビルに入居する保育園の園児達が2か月に1回訪れて世代間交流をしている他、近隣保育園からは11月に招待を受ける等着実に連携が拡大している。 【働きやすい環境と熱心な人材育成】 フロアごとに整備した休憩室と更衣室、法人の産業医やハラスメント対策室にも直接相談できる体制等、職員が安心して業務を遂行できる環境を整えている。人材育成にも力を入れ、年間計画にもとづく研修受講は研修受講台帳で管理し、外部研修受講によるスキルアップや資格取得も積極的に支援している。 |
|--|

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|------------|
| 事業所名 | プラチナホーム海老名 |
| ユニット名 | 2F |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまに |
| | | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| | |
|-------|------------|
| 事業所名 | プラチナホーム海老名 |
| ユニット名 | 3F |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまに |
| | | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 地域に根ざしたメディケアを提供するという理念を意識しながら医療、介護、福祉総合的にサービスを提供出来るよう取り組んでいる。 | 「地域に根ざしたメディケア（医療に強い介護）を提供する」という法人の経営理念とグループの使命（ミッション）は事務室やフロア入り口に掲示し、事務室内にもクリアファイルに入れて見えるように置いて毎朝の朝礼で唱和している。また、年1回「経営理念の理解」という法人研修を受講した職員が講師となって、全職員に伝達研修を行い理解浸透を図っている。管理者は、グループの使命の一つである「いつまでも変わらないプラチナのような」質のよいケアを目指している。そのために職員との話し合いを重視し、何かあったらいつでも話し合えるような雰囲気作りとコミュニケーションを通して職員が学ぶ姿勢を大切にしている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地元のエリアマネジメント組合に加入し町内清掃や花の植え替えイベント等に参加している。夏祭りイベントで簾の作成のお手伝いをさせていただいた。 | 事業所開所から5年という短い期間で、地域との連携を図るために積極的且つ継続的に各種活動に取り組んでいる。一般社団法人海老名扇町エリアマネジメントに加入し、会報誌「そらかぜ」で地域の情報を入手している。また、同法人主催の地域のお祭りや月1回の美化清掃、年2回の花の植え替えイベントに利用者と一緒に参加している。夏祭りにはテントに飾る簾作りに協力した。毎月第2土曜日には駅前で開催している骨董市に出かけている。11月開催の「おでんナイト」にはサービス券が配られるので出向く予定である。駅ビルに入居する保育園の園児達が2か月に1回事業所を訪れて、一緒に花の手入れをする等交流を続けている。近隣の保育園からは11月15日に招待を受けている。ボランティアを受け入れて、尺八演奏コンサートを実施し、大正琴グループによる演奏会も予定している。地域包括支援センターからは、認知症サポーター養成研修の実施と受講者の事業所見学要請があり、いずれも対応した。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症サポーターステップアップ講座への職員の参加や社会福祉協議会の依頼での施設見学会への協力などさせていただいた。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月ごとに開催しており施設の運営状況の報告、イベントや行事の案内や様子の報告を行っている。回答用紙を添付し、参加出来ないご家族からの意見もいただいている。 | 運営推進会議は2か月に1回開催している。メンバーは、家族、地域包括支援センター、海老名市介護保険課、海老名扇町エリアマネジメント、薬剤師、管理者及び職員で構成され、全家族に開催通知と前回開催の委員会議事録及びアンケートを送って意見や要望を聞くよう努めている。年2～3回程度は1階の小規模多機能居宅介護事業所と合同で開催し、その際には利用者も参加している。事業所の運営状況や事故報告、イベントや行事報告、情報交換の中で意見や要望を聞いている。地域包括支援センター職員からは認知症カフェの開催や認知症サポーター養成講座の実施依頼があり、認知症サポーター養成講座を開催した。家族からは防災対策についての質問があり、対応内容を説明して議事録にも記録した。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市役所の職員の方に運営推進会議に定期的に参加していただいたり開催の案内と報告書類は窓口まで必ず持参するようにし情報共有の機会を持てるようにしている。 | 市の介護保険課には、運営推進会議の案内や議事録、事故報告等を直接持参して情報交換している。生活保護を受給している方については、市の生活支援課職員から定期的な連絡がある他、3か月に1回程度の来訪がある。神奈川県認知症高齢者グループホーム協会に加入し、主催研修に職員が出席している。えびなケアマネ連絡会（海老名・綾瀬・座間の3市合同）に加入して研修を受講したり意見交換を行ったりしている。海老名市主催で地域の福祉施設や医療関係者、消防署が参加するオンラインによるミーティングが行われ、参加した。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる | 年2回身体拘束の研修と概ね3ヶ月に1度、身体拘束適正化委員会を開催し議事録は書面にて職員が周知できるようにしている。 | 指針があり、2か月に1回全体会議の中で全職員が参加して「身体拘束等適正化対策検討委員会」を開催している。欠席者には議事録を回覧し確認印を押してもらっている。予め法人から指定されている議題を中心に話し合いをしているが、スピーチロックに関して、あるいは夜間帯の動線確保のための誘導が行動制限になるのではないかという職員の不安について話し合っている。研修は、年2回法人研修を受講した職員が講師となって伝達する形で全職員対象に実施している。研修後はレポートの提出を義務付けている。 | |
| 7 | 6 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 年2回虐待の研修、概ね3ヶ月に1度虐待防止委員会の開催を行い職員への啓発、書面にて周知を行っている。 | 指針があり、2か月に1回全体会議の中で全職員が参加して「虐待防止検討委員会」を開催している。欠席者には議事録を回覧し、確認印を押してもらっている。研修は年2回法人研修を受講した職員が講師となって伝達する形で全職員対象に実施している。研修後はレポートの提出を義務付けており、同時に年1回は不適切ケアのチェックリストでセルフチェックをして振り返りを行っている。今年度は加えて全職員が海老名市の虐待防止研修動画を視聴してレポート提出を行った。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 生活保護の方の受け入れや権利擁護に関する勉強会を年間計画で取り入れている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時は契約書の説明と確認、重要事項説明書の内容の確認など行い同意を得た上で契約を結んでいる。 その都度、何か疑問点や聞きたいことなどもないか確認している。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族からの意見やご要望は業務連絡や全体会議で報告や話し合いを行い全体で共有出来るようにしている。 | 電話や来所の際に意向や意見を聞いている。定期的に自宅に連れて帰りたい、という要望を受けて、その頻度を調整して都度持ち物を揃える等の対応をしている。事業所に親族が集まって会食したいという相談があり、部屋の提供をした。身体を動かす機会や外部との交流機会を増やして欲しいという要望に対しては、散歩をしたり、新たに階段の昇降を加えたり工夫をしている。また、コロナ渦を経て、新たなボランティアの受け入れや保育園児との交流、花見のドライブなどを順次実施している。 | |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月に1度全体ミーティングを行い運営状況の報告や改善に向けた意見交換を行っている。 | 管理者は、月1回の全体会議やフロアミーティングで意見や要望を聞く他、現場に入って職員と一緒に動く機会を意識し、様子を見ては声をかけて都度話をしている。職員の提案で、居室担当制を導入して担当者が誕生日会の準備や部屋の管理をすることになった。リビングのレイアウト変更も職員が行っている。職員からの要望で、ケアの質向上のためのフロアミーティングを月1回のペースで開催している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | 9 | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 毎月3月に人事考課を行い本社人事部との共有し適正な勤務実績の反映を行っている。 その他、必要に応じて社員個人と面談し就業環境の相談に応じている。 | キャリアパス制度があり、人事評価を行っている。職員は自身の目標を設定し、年2回の管理者との面談で目標設定とその達成状況の相互確認を行っている。独立した休憩室と更衣室が各フロアに整備されている。有給休暇は月3日まで希望日の申請ができる。健康診断は年1回、夜勤者は年2回実施している。法人が年1回ストレスチェックを実施し、産業医に相談できる体制がある。管理者は日々職員の様子に気を配り、必要に応じて声掛けもしている。フロアリーダーにも相談できるようになっている。法人にハラスメント相談室があり、更衣室に連絡先電話番号が掲示されている。 | |
| 13 | 10 | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 本社にて年間研修計画を作成し研修の機会の確保、OJTではマニュアルやコメントシートを利用し実際の現場での新人職員の困りごとや課題の把握をしながら業務内での指導を行っている。 | 法人の年間研修計画にもとづき、リーダーもしくは中堅以上の職員が法人研修に出席し、その出席者が全体会議で全職員対象に伝達研修を行っている。欠席した職員は、後日管理者または法人研修受講職員の個別研修を受けている。受講後は全員がレポートを提出し、その提出日を「研修管理台帳」に記載することで全職員の受講状況を一目でわかるようにしている。外部研修は自己申告や管理者からの推薦で受講している。介護福祉士実習指導者、認知症介護基礎、認知症介護実践者、認知症介護実践リーダー、初任者、実務者の各研修受講料や交通費は全額法人が負担し、受講日は出勤扱いとしている。介護福祉士は受験費用が法人負担、介護支援専門員研修は出勤扱いで受講料も法人負担である。初任者、実践者、介護福祉士、介護支援専門員の各資格取得者には資格取得手当が支給される。新人については1週間の法人研修を経て事業所でも研修を行い、引き続き週1回の法人研修があり、6ヶ月経過後は月1回法人研修がある。事業所ではフロアリーダーがOJTを行う。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 市町村のケアマネ連絡会への加入をし定例会への出席、神奈川県グループホーム連絡会への参加をし定例研修など参加出来る機会を持っている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回の見学時の聞き取り、入居前面談時に伺った家族やご本人の困りごと等は職員全員で共有している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 初回の見学時、入居前面談の際にご家族様にお話を聞き困りごと、施設にご入居なさった際の生活への希望など伺っている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前にご本人様、ご家族様のお話を聞き状況を確認する。 入居時に初回担当者会議を開催し意向の確認や方針、詳しいサービス内容などの説明などを行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員がすべて行うのではなく、洗い物や掃除など日常の家事活動などお客様も参加していただいている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様へは日常的な衣類や生活用品の準備のお願いや通院時は同行をしていただくなどして協力をお願いしている。 | | |
| 20 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 自宅に泊りがけで帰られたりご家族との外食や昔からのご友人の方たちが面会に来て交流を持っていたりしている。 | 家族の他、近所の知人や友人、同僚などの来所があり、居室や相談室でお茶の接待をしている。年賀状や電話の取次ぎを行っている。趣味の墨絵や塗り絵、事業所で購入している新聞の購読等、従前からの趣味や習慣を継続できるように支援している。家族が持参する週刊誌やミステリー小説の取り次ぎを行っている。あたりめやどら焼きなどの利用者の好物や美味しいパンを持ってくる家族もいる。家族同行での自宅への帰宅や法事、墓参り、外食等の外出支援もしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションを通じてのお客様同士の交流や日中はリビングで過ごす時間を増やす工夫をする事のお客様同士の関係の構築を促せるようにしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了後もお手紙を送付させて頂いたり。お電話をいただいた際は必要に応じてご相談などに応じていた。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 定期でのモニタリングやアセスメントの実施、何かご本人から訴えがあった場合は生活記録に残すことによって把握出来るようにしている。 | 入居時のアセスメントや入居後の面談時等に家族や本人から意向を確認する他、職員と1対1になる散歩時や入浴時等の時間を大切にして利用者の意向把握に努めている。意思疎通が難しい方については、家族からの情報や食の進み方、仕草や顔の表情から推測して対応している。把握した思いや意向はフロアミーティングや「日常生活記録」に記載して職員間で共有し、日々のケアに活かしている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前にご家族様への生活歴、ご本人様の人物像等の把握を行っている。 入居後は物品届けに来ていただいた際や面会時にお話を聞く機会を確保している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 経過記録を活用することでご本人の生活パターンの把握を行っている。 | | |
| 26 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月、各フロアミーティングを行った際にケアの課題等の話し合いを行い意見交換をしている。 医療関係者、ご家族様へは定例訪問時や面会時などに話を聞いて意見を伺っている。 | 入居時に作成した介護計画は、入居後1か月で見直し、その後は短期目標6か月、長期目標1年で見直している。必要に応じて適宜見直している。医療機関の意見を往診時に確認したうえで家族及び管理者（計画作成担当者）、職員で担当者会議を開催している。毎月のフロアミーティングで状況変化や目標到達度を確認し、計画作成担当者が3か月毎にモニタリングを実施している。介護計画のサービス内容は「日常生活記録」「業務日誌」に記述して、介護計画と日々のケアの連動を図っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 各個別記録に共通項目や個人の短期目標達成のための具体的なサービス内容なども盛り込む事で実践と結果が確認出来るようにしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | プランに盛り込まれたサービスだけでなくご本人、ご家族の状況や希望に合わせてサービス利用を提案してる。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地元情報誌や自治会の広報を見て骨董市へ見学など行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 14 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前にご希望を伺い元々のかかりつけ医をご希望された際は継続受診が出来るよう支援している。 | 利用者の大半は月2回協力医である内科医師の訪問診療を受診している。2名は別の協力医に家族同行で月1回通院している。往診の際は、薬剤師が同行し、配薬管理もしている。事業所と協力医、薬局が医療連携チャットツールを活用していつでも連携が取れる体制が整っている。事業所は往診前に相談事項を伝え、医師からは、往診後に往診時の指示をまとめた書面データが送られてくる。気になることを伝えることで、医師や看護師、薬剤師が状況に応じて適切に対応してくれる。系列の医療機関からは24時間オンコールの訪問看護師が週1回来訪して利用者の健康管理を行っている。専門医への通院は家族が対応している。事業所は受診結果を聞き取って、日常生活記録及び業務日誌に記録して職員間で共有している。希望者が訪問歯科の往診を受けている。職員は、歯科衛生士からレクチャーを受けて、日々の口腔ケアを行っている。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 定期訪問の際は連絡用書式の活用、インターネットのチャットツールの活用や電話でのオンコール対応で24時間連携出来るようになっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は病院の担当者と連携をとりながら情報提供や入院中の状態の把握に努めている。入院中の状況等はチャットツールにて主治医、訪問看護師、薬剤師と情報共有を行っている。退院時はサマリなどの情報共有も行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時は重度化指針・看取り指針のご説明を行い同意を得ている。 変化時は医療職を含めた各関係者とご家族様含め話し合いをし情報の共有、方針の共有を行っている。 | 契約時、家族に「重度化した場合の対応に係る指針」及び「看取りに関する指針」を説明して「事前意向確認書」で意向確認している。終末期には、家族及び医師、看護師、薬剤師、事業所職員、管理者が同席して話し合い、議事録を作成して情報や方針の共有をし、家族から同意書を得て看取り介護計画書を作成し看取り介護を実施している。今年度の看取り実績は2名である。利用者も一緒にお見送りしている。年1回看護師が職員に重度化や看取りの研修を行っている。看取り後、職員に対し、ケースカンファレンスや全体会議で振り返りを行っている。家族には写真アルバムを渡し、直接話をしている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期で緊急時対応の研修を行っている。 他にも、希望があればその都度確認も含めて研修の機会を確保している。 | | |
| 35 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回避難訓練を行い定期的に避難経路の確認、実際の避難誘導の実践など行っている。現在はBCPの策定準備を行っている。 | 1階の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で、3月に夜間想定、9月に日中想定の方針避難訓練を利用者も一緒に実施した。9月の訓練の際には、引き続き職員だけで震災と水害想定でBCP机上訓練を行った。また、相模川の浸水想定区域にあるため、年2回の床の定期清掃時に利用者と一緒に垂直避難訓練を実施している。職員分含めて3日分の水や食料の他、ランタンやカセットコンロ、ラジオ、懐中電灯、毛布、簡易トイレ、衛生用品等を建物内倉庫に備蓄し、備蓄品リストで管理している。BCPは策定済みである。地震対策で冷蔵庫等に転倒防止策を講じる予定である。 | 各種訓練は幅広くされていますが、近隣との連携が希薄なようです。特に夜間の非常時に不安がありますので、是非地元消防団（第五分団）への協力要請を期待します。また、運営推進会議の議題に取り上げて、出席者の海老名扇町エリアマネジメントや行政の方に協力要請されることを期待します。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 17 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 倫理接遇研修を毎年定例で行っている、入社時研修の科目にも組み込む事で接遇のに対する意識の啓発と確認をしている。 | 入社時研修の他、年1回全職員対象に倫理接遇研修を行っている。利用者の呼称は原則として名前に「さん」付けである。居室入り口には、認識が難しい方を除き利用者氏名の表記はしていない。トイレ誘導時は耳元で声かけしている。脱衣所の扉の内側にカーテンをつけて目隠しにしている。トイレと脱衣所が繋がっており、状況によっては誰にもわからないように対応できる。職員同士が利用者の近くで会話する際には、氏名ではなく部屋番号で会話するほか、フロアで記録を書く際には利用者の目に入らないところで行う等、配慮している。個人情報を含む書類は事務所内の施錠できるキャビネットに保管している。パソコンは法人による閲覧制限がかけられており、パスワードで管理している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人の希望や意見を伺いながら日々のレクリエーションやイベントのメニュー決め等行っている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 大まかな日課は決まっているがそのその時のご本人様の希望に合わせて無理強いせず起床時間や就寝時間もご本人様のペースに合わせて対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類はご家族様に準備していただくことでなるべく好みの物をそろえられるようにしている。衣類準備の際は一緒に選ぶ方は職員と一緒に準備をしていただくことによってご自身の着たい物を選ぶようにしている。 | | |
| 40 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | お客様の状態にあわせて変更出来るようになってきている。食事の盛り付けや片付けなどお客様と一緒に行っていただいている。通常のお食事以外にもリクエストあった時は手作りでの食レクなども行っている。 | 主菜・副菜は、業者から届く調理済み食材を湯せんし、ご飯と汁物を職員が調理して提供している。メニューに合わせて週2回、パン食も提供している。食形態に合わせて刻みやソフト食等にも対応している。業者提供のメニューには毎月初めのお赤飯や月1回の行事食が組まれている。誕生日には居室担当者を中心に利用者の希望を聞いてちらし寿司や巻き寿司、ナポリタン等のメニューを手作りし、おやつは、職員が装飾を施したスポンジケーキやあんみつ等を提供している。利用者は、ほうじ茶・緑茶・紅茶・コーヒー・カモミールティー・カルピス・手作りスポーツドリンク等の飲料を好みに応じて飲むことができる。利用者は食事の盛り付けや下膳、食器拭き、洗い物等を手伝っている。3月には家族も参加して、握り寿司レクを行った。11月にも実施する予定である。8月には食事レクで散歩を兼ねて、駅前大型商業施設の中華料理店を訪れた。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量が少ないお客様に対して栄養補助飲料の処方依頼や栄養パウダーや高カロリーゼリーの準備がある。水分量が少ないお客様に対して保水ゼリーや手作りでも色々な味のゼリーを提供するなどして水分量の確保に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後必ず口腔ケアの声かけを行い月に2回必要なお客様にたいして協力医療機関の歯科往診していただいている。 | | |
| 43 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 毎月フロア会議にてお客様の状態の情報共有、排泄チェック表にてアセスメントを行っている。 夜間は起座時にトイレ誘導などお手伝いしオムツは使用しないようにしている。 | 完全自立の方が4名いるが、それ以外は排泄チェック表で排泄パターンを把握してトイレ誘導をしている。常時おむつを使用している方、夜間のみおむつを使用している方、布パンツを使用している方もいるが、大半はリハビリパンツとパッドを使用している。夜間のみポータブルトイレを使用する方もいる。夜間は睡眠優先だが、見守りモニターでの確認や居室ドアが開くタイミングでトイレ誘導している。病院の退院時にオムツ使用だった方が、支援によりリハビリパンツの使用に改善した事例がある。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 一日の水分量と食事量のトータルバランスの確認、ゼリー作成時は寒天ゼラチンを使用し食物繊維摂取の促し、便秘症のお客様に対しては毎朝センナ茶の飲用などで対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | お客様のご希望や身体状態に合わせて週3回での入浴対応や安楽に入浴出来るようにチェアー浴機械の設置をしている。 毎週第4月曜～水曜日は温泉の日として暖簾の設置し入浴剤を使用しての入浴介助をしている。 | 週2回午後の入浴が基本だが、利用者の希望や状況により週3回の入浴にも対応している。車椅子の方等には中間浴対応もしている。お湯は一人ずつ全交換している。状況により足浴、清拭等の対応もしている。同性介助にも対応している。浴室と脱衣所は暖房設備を使って、ヒートショック対策をしている。利用者は、毎月第4週月曜から水曜日に暖簾を設置して入浴剤を入れて行う「温泉の日」や、12月の季節のゆず湯で入浴を楽しんでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 入床時間は決まった時間ではなく個人のタイミングで休んでいる。 お休みの前に希望のお客様へはハーブティーの提供などリラクセスできる時間を作っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 往診時は主治医の他訪問看護師や薬剤師の立ち会いの下でお客様の服薬に関する情報の共有や相談、説明を受けている。 体調変化時はチャットツールにて医療関係者と情報を即時共有出来るようになっている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人役割が持てるように家事活動への参加や創作物のお手伝いなどしていただいている。 希望のお客様に対して牛乳の提供など行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 散歩の時間の確保、法事への外出支援、他施設へ入所中のご家族様への面会支援を行っている。 現在は、定期的にご自宅に帰られたり外食にいかれる方もいらっしゃる。 | 概ね1週間に2回20分程度、事業所周辺を利用者と職員が1対1で散歩している。年賀状を郵便ポストに投函しに出掛けたり、近くのコンビニエンスストアや自販機に食べ物や飲み物を買に行くこともある。第2土曜日には駅前の骨董市に出かけている。ベランダや玄関先で日光浴を楽しむ方もいる。4月には綾瀬の川沿いの桜のお花見ドライブを楽しんだ。家族対応で、定期的に自宅に帰る方、外食に出かける方、他施設に入所中の家族の面会や法事のため、外出する方もいる。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ららぽーとや近所のコンビニへの買い物支援など行っている。 施設前の自販機で好きな飲み物を購入していただいたりもしている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様からお電話をいただいた際ご本人様に取り次いだりお客様の書かれたはがきを近所の郵便局で投函している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとに飾りを作ったり入り口にお客様の手書きの水墨画など飾っている。 カラオケ機械の機能でBGMを流したり就寝前はリビングの明かりの調整をしリラックスして入床出来るようにしている。 | 壁は全て白で統一され、リビングの大きな窓からの採光もあり明るい空間になっている。リビングは食卓の他、ソファも置かれ、利用者は思い思いに過ごすことができる。カラオケセットを2階と3階で交互に使用して映像と音楽を流している。台所はオール電化で、職員はカウンターキッチンから食事の支度をしながらリビングにいる利用者に声を掛けて見守っている。廊下、リビングともに車椅子移動に十分な広さを確保している。フロアに3か所あるトイレはいずれも車椅子対応になっている。白い壁には、利用者と職員が作った季節ごとの折り紙や貼り絵、習字等を飾り、玄関にも利用者が作成した複数の墨絵作品を飾っている。日々の清掃は、職員とともに利用者も掃除機やモップ掛けをしている。年2回、専門業者による床清掃がある。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングにソファの設置をし定席以外の場所でも過ごせるようにしている。 | | |
| 54 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 備え付けは電動ベッドとマットレスのみとしご入居時はご本人様のご自宅で使用していた物などお持ち込みいただいている。 | 居室は、介護ベッドの他、防災カーテン、エアコン、照明器具が備え付けてある。利用者は、使い慣れた整理ダンスやテレビ、椅子、仏壇等を持ち込み、家族の写真、位牌、ぬいぐるみ、レクで作った作品等を飾って思い思いに過ごしている。就寝前には調光器付の照明で明りを落としている。衣類入れ替えは居室担当者や家族が対応し、清掃はできる方は本人が、それ以外は職員が行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内はバリアフリーとなっており段差の解消両脇に手すりの設置をし転倒予防をしている。 台所はIHコンロを設置、お客様と家事を行う際やけどや火事の危険性が少ないようになっている。 | | |

目 標 達 成 計 画

事業所名

プラチナホーム海老名2F

作成日

令和7年2月24日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|---------------------------|---|------------|
| 1 | | 35 災害対策 定期的な訓練は行っているが地域を巻き込んだ訓練が行われていない。 | 災害時、地域住民の方を交えた協力体制を整えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災フェスなどの際に地元担当の分団の方への挨拶をする。 ・年に1回防災訓練の際は地域の方にもお声がけできるようにする。 | 1年 |
| 2 | | 26チームでつくる介護計画とモニタリングフロアミーティングでお客様について個別での話し合いはできているが深い部分までの落とし込みができていない。 | 個々のニーズを踏まえたサービスの提供を行っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多職種を含めたサービスの立案 ・ケアプランの全員への周知 | 1年 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| | | | | | |

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目 標 達 成 計 画

事業所名

プラチナホーム海老名3F

作成日

令和7年2月24日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|--|---|------------|
| 1 | | 35 災害対策 定期的な訓練は行っているが地域を巻き込んだ訓練が行われていない。 | 災害時、地域住民の方を交えた協力体制を整えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災フェスなどの際に地元担当の分団の方への挨拶をする。 ・年に1回防災訓練の際は地域の方にもお声がけできるようにする。 | 1年 |
| 2 | | 48 役割、楽しみごとの支援 ご本人のやりたいことできることを楽しむ時間を作る機会の確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お一人お一人の趣味や生活歴にクローズアップしたサービスの支援ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントレクリエーションの種類の実を充実を図っていく。 | 1年 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| | | | | | |

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。